

授業科目名： 社会科・地理歴史科の 教育	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 4単位	担当教員名： 鎌田 幸男
			担当形態： 単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校 社会）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
授業の到達目標及びテーマ			
① 中学校社会・地理歴史科の今日的意義と課題を理解し、説明できる。			
② 社会系の教師に求められる資質と能力とは、どのようなことかを認識できる。			
授業の概要			
本授業では、中学校社会科を担当する教師に必要な基本的知識について考える。また教育内容と教育方法、評価について解説する。教育内容では、「中学校学習指導要領解説 社会編」（2008）の改定3要点を分野別に解説する。教育方法は、模擬授業を行い、相互の意見交換を通じて授業への意識高揚を図る。			
授業計画			
第1回：オリエンテーションー授業計画と内容、アクティブ・ラーニング、模擬授業			
第2回：中学校社会科の学習についてー学習指導要領の改訂と中学校社会・地理歴史学習の意義			
第3回：社会・地理歴史科の学習ー社会科教育の動向と学習指導要録の改定			
第4回：公民的分野の学習①ー公民の意義、公民として必要な基礎的教養			
第5回：現代社会の理解を深める②ー世界と日本の文化に関心を持ち継承と創造を考える			
第6回：地理的分野の学習①ー世界と日本の地域構成、地図の読図や作成をする			
第7回：地域社会から課題を見つける②ー課題解決に向けて地域社会に働きかけができる			
第8回：歴史的分野の学習①ー教師として歴史認識をもって学習に当たる			
第9回：近現代史の学習②ー移り変わりの見える戦後の歴史を認識する			
第10回：郷土の歴史を探る③ー地域社会の歴史や文化に関心を持ち郷土への愛着心を育てる			
第11回：アクティブ・ラーニングと反転学習について 「学び方」を理解する			
第12回：アクティブ・ラーニングの学習準備 具体例を基にした学習展開と意見交換			
第13回：アクティブ・ラーニングの模擬授業 より深い理解ができたか、意見交換をする			
第14回：社会・地理歴史科学習の課題についてーレポート提出			
第15回：授業の振り返りーレポートを題材に意見交換、授業への意識高揚を図る			
第16回：学習指導のあり方ー学習指導要領と教育課程について			
第17回：学習指導案作り①ー学習指導案の意義、教材研究の意義、評価について			
第18回：学習指導案作り②ー学習内容と教材の精選、授業の進め方について			

第19回：模擬授業、公民的分野①—現代社会を理解するための見方や考え方  
第20回：模擬授業、公民的分野②—伝統や文化を事例として情報機器を活用したアクティブ・ラーニングによる授業  
第21回：公民的分野の模擬授業を通じて相互に意見交換をする、公民的分野の授業の進め方  
第22回：模擬授業、地理的分野①—世界と日本の地理的認識を育てる  
第23回：模擬授業、地理的分野②—地域社会から課題を見つけアクティブ・ラーニングによる授業  
第24回：地理的分野の模擬授業を通じて相互に意見交換をする、地理学習のめざすもの  
第25回：模擬授業、歴史的分野①—日本の歴史の流れを把握して歴史事象を知る  
第26回：模擬授業、歴史的分野②—地域の歴史から課題を見つけ映像資料を活用して伝統や文化への関心を高める  
第27回：模擬授業、歴史的分野③—近現代史の学習を通じて歴史認識の高揚を図る  
第28回：歴史的分野の模擬授業を通じて相互に意見交換をする、歴史学習の課題  
第29回：社会・地理歴史の学習の評価—生徒の評価と授業者の自己評価について  
第30回：一年間の授業を振り返り—社会系の教師としての力量について  
定期試験

テキスト 授業時に教材用プリントを配布。

参考書・参考資料等 文部科学省「中学校学習指導要領解説 社会科編」（2017）、教育実習を考える会編「教育実習生のための学習指導案作成教本 社会地歴公民科」（蒼丘書林 2007）

学生に対する評価 定期試験50%—前期（25%）、後期（25%）、レポート（15%）指導案（15%）、模擬授業（20%）